★佐賀戦国研究会について

■発足は 2012 年。民間社会人による歴史サークル兼研究会。全国的に戦国ブームの昨今、佐賀の戦国武将(龍造寺隆信、鍋島直茂)がゲームの影響で全国的に人気になる中、肝心の佐賀では幕末明治の紹介ばかりで、戦国時代のPRは全くなされない。その為「無いなら自分たちで顕彰しよう」という趣旨で有志市民で活動開始。講師に学研の雑誌「歴史群像」へ寄稿中の歴史家、中西豪先生を迎え、第一回講演会を平成 25 年 3 月に開催。157 名もの地元歴史ファン及び、遠くは関東・中部から龍造寺鍋島ファンが佐賀城本丸に集まり、新聞にも大きく取り上げられる。

「世評における龍造寺氏・鍋島氏」 ■講演会開催履歴: 第一回 H25. 3/23 (157 名) 「1から始める龍造寺史」 番外篇 H25. 8/4 (105名) 第二回 「沖田畷に見る戦国軍事史研究の現在」 H25. 11/16 (85 名) 第三回 「救世主・鍋島直茂」 H26. 4/12 (84名) 「救世主・鍋島直茂 (統一政権下のサバイバル)」 第四回 H26. 8/24 (92名) 「質疑応答会 ~龍造寺鍋島氏から日本の戦国時代」 第五回 H26.12/27 (33名) 第六回 「肥前千葉氏と戦国前夜」 H27.10/4 (75名)

- ・ 第七回 特別編「戊辰会津戦争の真実 -会津・薩摩・佐賀の関わり一」 H28.5/29 (156 名)
- ・ 第八回 「関ケ原の戦いを再検討する-龍造寺・黒田・加藤を中心に-」H29.8/20 (140名)
- 第九回 「幕末維新を再検討する 西郷、江藤、会津龍造寺 」 H30.10/28 @ (70 名)
- ★ 第十回 「第2回 関ヶ原の戦いを再検討する-高橋陽介・乃至政彦両氏に聞く関ヶ原の戦いの実像-」 2019 年 6/23 福岡県北九州市小倉北区にて、別府大学・白峰旬教授もお招きして開催(63名)
- ・歴史雑誌『忘却の日本史 西日本編 特別号』に「佐賀戦国研究会が選ぶ九州の武将ランキング 100」執筆。
- ・嬉野市の肥前夢街道忍者村からの委託により、嬉野市の忍者調査事業に参加。嬉野市史上に忍者を発見。
- ・代表 深川が『第二回国際忍者学会』基調講演を務める。続いて、2019.5/18 三重県伊賀市にて講演。
- ・代表 深川が『忘却の日本史』Vol.15 以降、「肥前の戦国」として連載記事を執筆中。
- ■過去に後援頂いた自治体や企業:佐賀県立佐賀城本丸歴史館、小城市教育委員会、千葉市教育委員会、 佐賀新聞、西日本新聞、サガテレビ、雑誌『歴史群像』、雑誌『忘却の日本史』、千葉氏顕彰会、 大坂の陣 400 年天下一祭、十六世紀史研究学会、株式会社歴史と文化の研究所、日本史史料研究会、 東海古城研究会、肥前夢街道忍者村
- ★佐賀市民活動プラザでの勉強会・座談会を定例会とし、ゲストを招き佐賀県内外で、講演会やシンポジウム、座談企画を開催中。佐賀県の戦国史を主軸に日本の戦国史を勉強・紹介する趣旨。広告は若者に PR できるようにアニメ風のグラフィックチラシ。また、ミドルメディアとなる事を志向し、Itunes の Podcast、及び Youtube で講演会や勉強会の音源を配信中。(Itunes Store の Podcast で佐賀の戦国史で検索すると無料購読可能。)
- ★(理念) グローバリズムの日本かつ人口減、地方経済衰微で、古い郷土史はインパクトが薄れる傾向。 行政による歴史顕彰を支援しつつ、市民レベルで歴史に学び、自発的かつ自由に、カジュアルに活動する企画。



代表 深川 直也

〒840-0861 佐賀市嘉瀬町中原 76-53

TEL: 080-5242-4015

Mail: sagasengoku@live.jp